



公益社団法人
滋賀県理学療法士会
ニュース

No. 229(2026-8)

<http://www.shiga-pt.or.jp>

2026.8.1

発行者: (公社) 滋賀県理学療法士会

〒527-0145

滋賀県東近江市北坂町 967

びわこリハビリテーション専門職大学内

編集者: 西村 謙太郎 (公立甲賀病院)

服部 有純 (公立甲賀病院)

印刷所: (有) 東呉竹堂 (ひがし印刷)

第41回滋賀県理学療法学会を終えて

第41回滋賀県理学療法学会は、「標準化と個別性の往還」をテーマに開催し、366名(一般市民45名を含む)の皆様にご参加いただき、盛会のうちに無事閉幕いたしました。

ご講演 座長をお引き受けいただいた先生方、演題発表者の皆様、ご参加いただいた皆様、後援 協賛を賜りました皆様、会場をご提供いただきました米原市役所の皆様、そして一年間にわたり準備運営にご尽力いただいた準備委員の皆様、学術担当の久保氏、宇於崎理事、滋賀県理学療法士会理事各位をはじめ、本学術集会を支えてくださったすべての皆様に、大会長として心より御礼申し上げます。

本学術集会では、標準化された知識や技術が理学療法士としての確かな土台となる一方で、その土台の上に患者さん一人ひとりの個別性を踏まえた理学療法を実践することの重要性について、多くの先生方からご講演いただきました。「標準化」と「個別性」は相反する概念ではなく、両者を往還し続けることこそが理学療法の質を高め、より良い臨床につながるという思いを、参加者の皆様と共有できたのではないかと感じています。

また、新たな知見を一つ持ち帰られた方、自身の臨床を改めて見つめ直された方、久しぶりに仲間と再会し刺激を受けられた方など、それぞれに異なる学びや気づきがあったことと思います。「もう少し勉強してみよう」「この評価や治療を明日から実践してみよう」「いつか自分も研究発表に挑戦してみよう」。そのような一人ひとりの小さな気持ちの変化こそが、学術集会の最も大きな価値であり、そのきっかけとなる場を提供できたのであれば、大会長としてこれ以上の喜びはありません。

学術集会は一日で幕を閉じます。しかし、その一日の学びが日々の臨床や研究につながってこそ、本当の成果になると考えています。本学術集会で得られた学びや出会いが、皆様の臨床の質の向上、さらには患者さんや地域住民の皆様へのより良い理学療法の提供につながることを心より願っております。

最後になりますが、準備委員一同、この一年間、本学術集会の成功に向けて全力で取り組んでまいりました。無事に開催を終えることができましたのは、多くの皆様のお力添えがあってこそです。改めて、すべての皆様に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

第41回滋賀県理学療法学会

大会長 前川 遼太(近江温泉病院)



びわ湖マラソン 2026 医療救護ボランティア参加してきました

皇子山陸上競技場をスタートし烏丸半島をゴールに開催されるびわ湖マラソン 2026 の医療救護スタッフとして、当士会から有志を募り、13 名で参加してきました。



最後尾救護班で初めて参加させていただきました。約 7,000 人のランナーが走り抜けるのを見るのは、壮観であり、どうしても声を出して応援したくなります。たくさんのランナーから力をいただきました。また、ボランティアか、実際に私もランナーとして参加してみたく思いました。多くの人の支えによって、大会が開催できる事を知り、みなさま、お疲れさまでした。また、ありがとうございました。
＜最後尾救護車② 津田洋志＞

2 度目の救護所の活動となり、前回とは異なる場所だったので、少し不安もありましたが、周りの方と協力しながら、無事終わることができました。ほとんど応援していたような気もしますが。ランナーもボランティアの方々もお疲れ様でした。また機会があれば参加したいです。
＜救護所⑧ 田村 峰香＞



今回で 3 回目のボランティア参加となりました。自転車 AED 隊として活動させていただきました。冷たい風が吹く寒い天候でのマラソン大会となり、救護対応を行ったランナーの方も数名おられました。大事に至ることなく大会を終えることができて良かったと思います。活動を通して、ランナーの皆さんから感謝のお言葉をいただき、大きなやりがいを感じました。来年もぜひ参加したいと思います。
＜自転車 AED 隊③ 徳田 一樹＞

今回 2 人の負傷者の対応をしました。救護スタッフの出番が少なければ、それだけ怪我人が少なく安全にマラソンができているのかなと改めて感じました。救護車内は走行中かなり揺れる為、負傷者の方をスタッフが支えるよう配慮が必要だと感じました。他の職種の方と関わることができ、とても勉強になりました。ありがとうございました。
＜待機救護車② 富永 琢矢＞



今回、初めてびわ湖マラソンのボランティアに参加させて頂きました。寒の戻りで朝は雪の散らつく気温の低い日となりましたが、救護所での活動ではとても貴重な経験をすることができました。ボランティアスタッフと共にゴールを目指して走るランナーに声援を送っていると自分自身も寒さを忘れて熱くなっていました。是非また参加させて頂きたいと思います。

＜救護所⑧ 磯寄 浩司＞

びわこマラソン大会メディカルサポート事業に、理学療法士として参加させて頂きました。怪我や急変などでお困りのランナーの皆様をサポートできました。「理学療法士がいて安心しました」とランナーの方達より温かいお言葉もいただきました。大変貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。

＜待機救護車④ 岸本美地彦＞

琵琶湖マラソンの医療救護に理学療法士として参加し、下肢の筋痙攣、大腿部の強い疲労感、足底部痛などを訴えるランナーが多く、状態を確認しながらストレッチや軽い筋緊張の緩和、歩行介助などの対応を行った。短時間で全身状態を観察し、単なる筋疲労なのか、脱水の影響が疑われるのかを多職種と共有しながら判断する必要がある、理学療法士としての観察力と判断力の重要性を改めて感じた。また、医師・看護師・救急スタッフと連携しながら対応することで、スポーツイベントにおけるチーム医療の役割も実感した。

＜待機救護車⑤ 池野 尚男＞

今年で3回目の参加になりました。今回も去年に続いて最後尾救護車4、兼救護所7という33km地点の担当でした。今年は去年と打って変わり寒い中のレースで、筋肉系のトラブルと低体温、脱水の方が多かったように思いました。特に今年感じたのは、積極的に大会の別のボランティアの方から、「トレーナーさん!」、「理学療法士さん!!」「向こうで脚が攣ってる人が居るので診て欲しい。」や、「動けなくなっているから少し相談に乗って欲しい」など、関係者の方からの要請が沢山あった様に思いました。

大会を通して昨年知り合った関係者の方や、ボランティアスタッフの方々に理学療法士の認知度が大きくなってきていることを肌で感じられました。同じチームで活動した陸上協会の方達からも、今年はインターハイが滋賀であるので是非参加して欲しいと希望もいただきました。またランナーの方々からも、身体のトラブルを何とかしてもらえると感じてもらえたことなど、我々理学療法士として活動出来る幅が増えている様に再認識できた良い大会でした。

＜最後尾救護車④ 村崎 陽一＞

びわこマラソンのサポートに初参加させて頂きました。

始まるまでは不安ばかりでしたが、医療スタッフの方々より声かけを頂き、昨年の様子など色々なお話を伺うことができました。またランナーの方からも、相談できてよかった・ストレッチなどして頂くことで安心して帰ることができます・また来年も楽しみに参加したいと思えますと温かい声を頂くことができました。今後も機会があれば、微力ながら協力させて頂きたいと思えます。

＜救護所⑨ 村地 健太＞



初めてびわ湖マラソンメディカルサポート事業に参加させていただき、ゴール地点の救護所にて活動いたしました。参加前は、理学療法士としてどのように貢献できるか不安もありましたが、医師・看護師・運営スタッフの皆様は活動内容を丁寧に指導いただき、チーム一丸となって選手のサポートにあたることができました。ゴール地点の救護所という特性上、ゴール後の低体温症状や下肢の痙攣を呈する選手が多く見られました。医師の診断のもと、看護師による体温管理、理学療法士としては下肢の痙攣への対応を担当させていただきました。

今回の活動を通して、現場での多職種連携の重要性を実感するとともに、自身にとっても非常に貴重な経験となりました。参加前の不安もありましたが、実際の活動を通じて多くを学ぶことができました。今後も本事業に積極的に参加し、来年度以降もぜひ携わらせていただきたいと思います。

＜救護所⑨ 土山 裕之＞

今回、琵琶湖マラソンの救護所に参加し、ランナーを支える現場を経験しました。短時間での評価と迅速な対応が求められ、判断力の重要性を実感しました。当日は筋痙攣や脱水などへの対応を行い、早期介入の大切さを学びました。また、医師や看護師との連携の中で、チームで支える意義も強く感じました。今回の経験を今後の臨床やスポーツ現場に活かしていきたいと考えています。

＜救護所⑥ 谷 篤志＞

救護活動をすることは初めてだったので緊張しましたがとても良い経験になりました。ランナーによって同じ症状でも少しずつ違うのでそれぞれ対応方法は変えないといけないことがわかりました。他の病院やクリニックの医師や看護師、セラピストとも交流ができてよかったと思います。またこのような機会があれば参加したいと思いました。

＜救護所⑥ 小森 祐依＞

3年連続で参加させていただき、今年は昨年と同様に第一関門での活動でした。なんと第一関門の救護所は負傷者ゼロで終わることができ、年々、医療ボランティアの雰囲気や質が向上してきていると感じました。スポーツ現場における医療職の活動や他職種との連携がもっと広がっていくといいなと思います。来年以降もぜひ参加していきたいです。

＜待機救護車① 辰巳 麻美＞



障がい者スポーツ支援部だより

★ パラスポーツの現場と理学療法士をつなぐ取り組みが始まります ★



令和 7 年、滋賀県において「わた SHIGA 輝く障スポ大会」が開催されました。本大会では、滋賀県理学療法士会の会員が、サッカー、ソフトボール、バスケットボール／車いすバスケットボール、ボッチャ、水泳、卓球、陸上の 7 会場でコンディショニングルーム従事者として活動しました。

会員の皆様には、日々の業務でお忙しい中、日程調整をしていただき、事前研修にも参加していただきました。大会当日は、各会場でアスリートのケアにあたり、コンディショニングルームは多くの方に利用され、大変盛況な活動となりました。ご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

今回の活動は、パラスポーツの現場における理学療法士の役割や可能性を実感する貴重な機会となりました。アスリートの身体状況を確認し、競技特性や障がい特性を踏まえながら支援する経験は、日頃の臨床とはまた異なる学びにつながったのではないかと思います。

この経験を一過性のものにせず、今後の滋

賀県におけるパラスポーツ支援へとつなげていくため、令和 8 年度より「滋賀県理学療法士会 パラスポーツを通じた活動支援事業」を実施します。

今年度は、障スポ大会に関わりのあった陸上、水泳、ボッチャ、車いすバスケットボールに加え、障がい者スポーツ支援部の部員が携わるアーチェリー競技とも連携します。理学療法士がパラ競技やパラアスリートとの関わりを通じて、社会参加の支援につながる活動を進めてまいります。

今後は、滋賀県内の障がい者スポーツ協会加盟競技団体等が実施する練習会や大会等において、理学療法士が関わる機会を広げていきたいと考えています。コンディショニング支援や身体機能の確認、競技特性に応じた助言などを通して、アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりに貢献してまいります。また、これらの活動を通じて、社会参加の支援や共生社会の進展にも寄与していきたいと考えています。

また、理学療法士がパラスポーツの現場に関わることで、会員自身がパラスポーツへの理解を深め、所属機関や地域において、社会参加支援や共生社会の進展に貢献するきっかけになることも期待しています。

活動に関する情報は、今後、ブラストメールや滋賀県理学療法士会ニュース等で随時お知らせいたします。パラスポーツに関心のあ

る方、障スポ大会での経験を今後につなげたい方、地域での社会参加支援に関わってみたい方は、ぜひ本事業にご参加ください。

滋賀県理学療法士会として、障スポ大会のレガシーを継続・発展させ、パラスポーツの現場と理学療法士をつなぐ取り組みを進めてまいります。会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ

滋賀県理学療法士会 障がい者スポーツ支援部
ptshiga.parasports@gmail.com 担当 安田

障スポ大会での活動の様子

コンディショニングルーム・支援スタッフの活動より



ケア対応



支援スタッフ



受付・記録

パラスポーツ用具貸出事業案内

- 会員およびその所属先の方々がパラスポーツに触れる機会を増やすため、スポーツ用具貸出事業を開始します。会員が所属する施設団体での体験会やイベント等にご活用ください。
- 借用される場合、「パラスポーツ支援部用具貸し出しに関する規程」を必ずお読みいただき、「スポーツ用具借用申請書」にてパラスポーツ支援部までご提出願います。貸出料は無料です。不明な点、用具の搬送方法については当部まで事前に問合せください。
- 規程や申請書は滋賀県理学療法士会ホームページ「情報」-「その他の情報」に掲載されております。



貸出用具

① ボッチャ用具

(ボッチャ赤青ボール、ジャックボール、審判用具)
1セット



② フライングディスク (公認) 10枚



③ フライングディスク アキュラシーゴール 1コ



問合せ先

滋賀県理学療法士会
パラスポーツ支援部



ptshiga.parasports@gmail.com

担当

安田

2026 年度

甲賀ブロック研修会第 1 回研修会 活動報告

甲賀ブロック 研修会担当
村上整形外科クリニック 中久保 拓哉

理学療法士として知っておきたい「お金」と「キャリア」を学ぶ ～FP 資格を持つ講師を迎えてライフプランを見据えた研修会を開催～

昨今、社会情勢の変化や多様な働き方が広がる中で、理学療法士にとっても自身のキャリア形成やそれに伴う「お金」の知識がますます重要視されています。専門職としてのスキルアップはもちろんのこと、将来を見据えたライフプランの構築や資産形成への関心は高まり続けています。

このような背景のもと、理学療法士の給与構造から投資を含むライフプランまでを幅広く学ぶことを目的として、「PT とお金の研修会」を開催しました。講師には、理学療法士として活躍される傍ら、2 級ファイナンシャル・プランニング技能士（FP2 級）の資格も保有されている榎藤康仁氏（医療法人健桂会たいち整形外科リハビリテーションクリニック／医療法人あそうクリニック）をお迎えしました。

研修会の第 1 部では「理学療法士とお金の構造」をテーマに、保険点数をもとにした売上構造や給与との関係についてご講義いただきました。普段あまり意識することのない給料明細の基本や手取りの仕組み、さらには転職や待遇を考える上で欠かせない求人票の見方など、具体的かつ実践的な解説がなされ、参加者にとって自身の労働環境を客観的に見つめ直す機会となりました。

第 2 部では「理学療法士のキャリア・資産形成」と題し、理学療法士の年収推移や資産形成の基礎についてお話しいただきました。自己研鑽や資格取得を「投資」として捉える考え方や、医療職が陥りやすい金融トラブルへの注意喚起など、将来のライフプランに直結する内容でした。さらに、独立に必要な資金や収支モデルについても概説していただき、キャリアの選択肢を広げるための貴重な情報を得ることができました。

理学療法士という専門職として働きながら、どのように自身の生活基盤を築き、豊かなキャリアを歩んでいくか。医療現場での知識や技術だけでなく、社会人としての金融リテラシーを高めるための非常に有意義な講習会となりました。今後も、会員の皆様により良い人生やキャリア形成の一助となるような研修会を企画していきたいと思えます。

問い合わせ先

村上整形外科クリニック 中久保 拓哉

e-mail : kokablock2022@gmail.com

令和 8 年度 滋賀県理学療法士会 神経理学療法研究会部内研修会 (日本神経理学療法学会 後援) 開催のご案内

日 時：2026 年 9 月 12 日(土) 18:00 ～ 19:30(受付 17:50～)

会 場：キラリエ草津市立市民総合交流センター 303 会議室

〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目 1 番 35 号

※駐車場がございますが有料となります。可能な限り公共交通機関をご利用ください。

テーマ：パーキンソン病に対する理学療法の実践

— 評価・介入の基本と LSVT BIG® を含めた実践紹介 —

講 師：大谷 明日輝 氏 公立甲賀病院リハビリテーション課 理学療法士
藍野大学大学院 健康科学研究科

内 容：近年、パーキンソン病に対しては、様々な研究が進み、社会的な関心も高まっています。「理学療法や運動療法が重要である」と言われながらも、実際には具体的なイメージを持てずに悩む理学療法士も少なくありません。本研修会では、日頃よりパーキンソン病患者に対する理学療法を実践されている講師をお招きし、施設での取り組みやパーキンソン病患者に対する理学療法について、基本的な考え方について、実際の症例を交えながらご講演いただきます。教科書的な知識だけではなく、明日からの臨床に生かしやすい視点や工夫を共有していただく予定です。日々の臨床で、「介入方法に自信がない」「相談を受けても十分な助言ができず悩んでいる」「必要に応じて専門的な介入へどのようにつなげるか知りたい」と感じている方にも、大変参考になる研修会です。本研修会が、パーキンソン病患者への関わり方を考える一助となれば幸いです。

定 員：25 名

対 象：滋賀県理学療法士会会員

費 用：無料

その他：登録理学療法士 更新カリキュラムコード 81 パーキンソン病関連疾患の
理学療法：1.5 ポイント 認定 / 専門理学療法士 更新研修会：1.5 点

申込期間：2026 年 7 月 15 日(水) ～ 9 月 6 日(日)

申込方法：下記 Google フォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/gCFswSC3fsPvTpxs6>

お問い合わせ先：

Mail: sigasinnkeipt@gmail.com (滋賀県神経理学療法研究会)



令和 8 年度 滋賀県理学療法士会 神経理学療法研究会部内研修会 (日本神経理学療法学会 後援) 開催のご案内

日 時：2026 年 11 月 8 日(日) 10:00 ～ 15:30(受付 9:30 ～、
昼休憩 1 時間)

会 場：米原市役所市民交流エリア 会議室 A ～ C

〒521-8501 滋賀県米原市米原 1016

※会場には駐車場がございますが有料となります。また当日に他の催事がある場合は
駐車場が込み合う可能性がございますので可能な限り公共交通機関をご利用ください。

テーマ：脳卒中歩行再建の理論と実践

講 師：中谷 知生 氏 (医療法人尚和会宝塚リハビリテーション病院、
日本神経理学療法学会理事)

内 容：脳卒中片麻痺者の歩行再建において、課題指向型トレーニングのエビデ
ンスは確立されていますが、実際の臨床では十分な歩行量の確保や、質の高いトレ
ーニングの実践に課題が残っています。

本研修会では、歩行速度向上の鍵となる「麻痺側立脚期の推進力産生」に着目し、
バイオメカニクスに基づいた動作分析と介入戦略を整理します。また、長下肢装具
や歩行アシストロボットを単なる補助具としてではなく、症例の最大能力を引き出
すための「戦略的な活用法」について解説します。

近年普及している客観的な評価指標を用いた臨床判断についても触れ、実際の治
療動画を提示しながら、理論と臨床の創意工夫を繋ぐ具体的な手法を提案します。

※実技も予定しておりますので動きやすい服装でご参加ください。

定 員：30 名

対 象：滋賀県理学療法士会員

費 用：無料 (滋賀県理学療法士会会員の場合)

3,000 円 (他士会員の場合) 4,500 円 (非会員)

その他：登録理学療法士 更新カリキュラムコード79 脳血管障害後遺症：4.5
ポイント 認定 / 専門理学療法士 更新研修会：4.5 点

申込期間：2025 年 7 月 1 日 (水) ～ 10 月 25 日 (日)

申込方法：次の方法でお申し込みください。

日本理学療法士協会へ入会申し込みが完了している方は、日本理学療法士会ホーム
ページのマイページからセミナー番号「160958」と入力しお申し込みください。

お問い合わせ先：

Mail: sigasinnkeipt@gmail.com (滋賀県神経理学療法研究会)

滋賀こども福祉機器展 2026 のご案内

日 時	2026 年 9 月 19 日 (土) 10:00 ～ 16:00
会 場	愛荘町立福祉センターラポール秦荘 いきいきセンター・はつらつドーム (滋賀県愛知郡愛荘町安孫子 1216 番地 1)
参加費	無料
駐車場	50 台以上あり
主 催	公益社団法人滋賀県理学療法士会 湖東ブロック
後 援	滋賀県、滋賀県教育委員会、愛荘町、 一般社団法人滋賀県作業療法士会、滋賀県言語聴覚士会

事前申し込みはチラシ QR コードから。当日参加も可能です。

「うちの子に合うものを知りたい」

「福祉機器を実際に見てみたい」

「地域でどんな支援があるか知りたい」

そんな方にぜひ来ていただきたいイベントです。

ご家族、支援者、医療・福祉・教育関係者、地域の皆さま、ぜひお気軽にお越しください。

事前申し込み QR コード
※当日参加も可能です。



Instagram はこちら ↓



今年も会員の皆さんからの写真を大募集し、写真コンテストを開催いたします。
応募作品のテーマは自由ですので、奮ってご応募ください



参加賞あり

滋賀県理学療法士会 厚生部主催

第15回 写真コンテスト

作品テーマ 設定なし 応募作品のテーマは自由ですので、お気軽にご応募ください。
応募作品には、必ず題名をつけていただくことを条件とします。

大募集!

応募方法

デジカメ・スマートフォンなどで撮影したものを下記までお送りください。

件名を“写真コンテスト”とし、①写真題名、②氏名、③所属、④電話番号を記入してください。

応募先 : ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp (ptshiga の後はアンダーバー)

締め切り日 2026年10月12日(祝・月)

審査方法

会員による Web 投票を行い、各賞の表彰を行います。

応募に際しての注意事項

- ・応募は1人につき2点までとします。
- ・被写体の肖像権侵害等の責任は負いかねます。
- ・全応募作品の使用権は滋賀県理学療法士会に帰属します。
- ・応募者本人が撮影し、すべての著作権を有しているものに限りします。
- ・公共性にそぐわないもの・不鮮明なもの等は、応募されても無効とします。
- ・応募数が一定数に満たない場合は、コンテストを中止する場合があります。



お問い合わせ先

厚生部 (ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp) までメールでお問い合わせください。

第13回 施設対抗フットサル大会 参加チーム募集

今年も施設対抗フットサル大会を開催するにあたり、参加チームを大募集します。

前回大会同様に**今大会も資格を有する審判員を外部から招き、厳正にレフリングをしていただく形を取り、特別ルールでの開催**となります。

皆さんで楽しむとともに士会員同士や他職種との良い交流の場になれば幸いです。詳細は以下の通りです。

【日 時】 2026年10月25日(日) 10:00～17:00 (9:30～開会式)

※少雨決行ですが、荒天の場合は順延予定。順延日は予約の都合上未定。

【場 所】 甲賀高分子スタジアム(フットサル滋賀石部スタジアム)

湖南市石部北一丁目2-1677 TEL:0748-77-5170



【駐 車 場】 駐車スペースに限りがあり、**会場駐車場への駐車台数については、チームごとに制限を設けます**(台数は参加チーム数によって変動しますので、後日お伝えします)。それ以上の台数の駐車については、近隣の指定駐車場をご案内させていただきます。各チーム乗り合わせでの参加、もしくは各チーム内で申し合わせの上、近隣指定駐車場のご利用をお願い致します。

【中止基準】 順延日が荒天で開催できない場合、中止とします。

【参加要項】

- ◆チーム構成について、**滋賀県理学療法士会会員をプレイヤーの代表者**としていただければ、OT・STの方々でも参加可能です。また、医師・看護師・介護士など施設スタッフの参加も認めます。
- ◆1施設から1チームのみ(5人以上)の参加とさせていただきます。グループ施設混合チーム、近隣施設混合チームでも構いません。
- ◆男性、女性、どちらでも参加して頂けます。男女混合やシニア混合チームはフィールドに6人出場可能。
※今大会ではシニアを50歳以上と規定します。なおシニアの方は腕に腕章を付けていただきます。
- ◆**参加費は1人500円**です。**※直前のキャンセルでも運営上支払っていただきます。**
- ◆大会運営およびレクリエーション保険加入の関係上、メンバー表・同意書の提出をしていただきます。エントリー時に詳細をお伝えします。
- ◆競技中の傷害補償については、三井住友海上レクリエーション傷害補償プラン(入院日額5,000円・通院日額3,000円)を利用します。エントリー後にお渡しするパンフレットをご確認後、補償内容が不十分であれば、各チーム独自でより充実したスポーツ保険等に参加されることをご検討ください。
- ◆参加いただいたチームすべてに参加賞をお渡しします。



前回集合写真

【大会特別ルール】

原則として資格審判員のジャッジに従ってゲームを進行していきます。未経験者や女性の参加者も多数おられることから厳正な審判に加え、大会特別ルールを設けて開催します。以下に主な特別ルールを示します。

◇1 試合ファール3回で相手チームへ1 得点加点 (以後1 ファールにつき1 得点加点)

◇女性・シニア選手の得点は2 点

◇スライディング全面禁止

◇男性→女性へのボディコンタクト禁止

◇無謀なロングシュート禁止

※本来のルールに加え特別ルールもファール対象です。審判員のジャッジに対しては必ず従ってください。審判員および選手に対する威圧・暴言・侮辱行為はカード対象です。従っていただけない場合は、大会途中でも個人およびチームを失格とする場合があります。

【交流イベント】

交流イベント（施設対抗ボール集め：ボールを自陣に運んだ数を競うレクリエーション）の開催を予定しています。各チームから数名選出していただきチーム対抗で競技します。当日に詳しい競技説明を行います。事前にゲーム解説をお配りします。成績優秀チームには賞品をご用意しています。また、子供さんは、ゲーム内でのアドバンテージがありますので、ぜひご参加ください。

今回のフットサル大会に参加して頂ける施設の代表者は、9 月 25 日（金）までに E-mail にてお申し込みください。ご質問等あれば遠慮なく下記連絡先へお問い合わせください。

施設代表者は、大会概要（特別ルールや参加費、駐車場、同意書、レク保険など）を必ず各メンバーへ周知していただくようお願いします。

また、今後の大会運営のお手伝いいただくスタッフを募集しています。優勝チームには、来年の大会運営のお手伝いをお願いする予定ですので、あらかじめご了承ください。

申し込み先：ka.19991021@icloud.com（済生会滋賀県病院 廣瀬凱音宛まで）

※必ず上記アドレスからのメールが受信できるように設定してください。提出書類等を添付し返信しますので、作業環境のある端末（パソコン等）からの申し込みをお願いします。

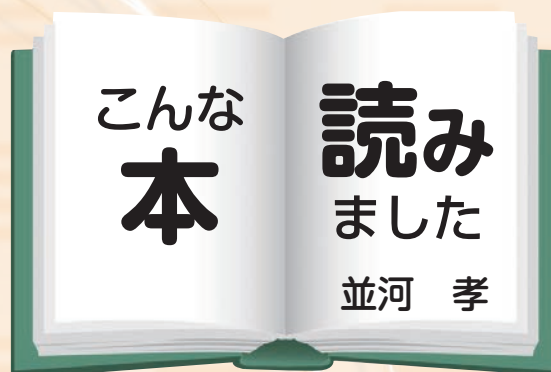
また、前日夜・当日朝に荒天による中止連絡を受けられる連絡先（メールアドレスもしくは携帯電話番号）もお知らせください。

お問い合わせ先：TEL：0748-55-1175(代) 東近江市蒲生医療センター リハビリテーション科 奥田

申し込み締め切り： 2026 年 9 月 25 日（金）



前大会競技風景



本の名前：『棺桶まで歩こう』

著 者：萬田緑平（まんだ りよくへい： 緩和ケア萬田診療所院長）

価 格：940 円(+税)

出版社：株式会社 幻冬舎

著者は歩くスピードや歩幅でその人の余命がほぼわかると述べている。例えばスタスタと歩ける人はおおむね 10 年以上生きられ、椅子から腕の力を使わずに立ち上げられる人なら余命 1 年以上。立ち上げられない人は余命 1 か月以内と述べている。人間は歩いている限り死なないとのこと。よって本書のタイトルは逆に言えば、『棺桶なんかに、入りたくなかったら歩こう』という提案をしているとのこと。がんの進行で、抗がん剤を止めるタイミングは難しい。どちらが長く生きられるか？ 難しい選択肢であるが、筆者は止めた方が長生きすると述べている。それなら苦しい薬をやめて、楽しい時間を過ごせるようにしたいものである。最後は家族みんな笑顔がいい！！ 退院してきたらほめてあげよう！ありがとうと言おう！



余命 1-2 週間と言われ、退院してきた人が2か月生きられた。振り返って『先生のお陰で幸せよ』と言われた。子どもらがみんな「母ちゃんありがとう」といつてくれた・・「じゃあ歩こう」と繋いでいく。抗がん剤は止めても死なないし、むしろ使わない方が長く生きる例が多いと述べている。誰もがいずれ死んでいく、体の機能は下がっていくが、心の状態は上げることができる。1 時間ごとにテーブルにつかまって、10 回立ち上がることを薦めている。また体の運動面では、姿勢を真っ直ぐにして、大股で速く歩き、呼吸筋の筋トレで元気なうちから意識的に鍛えることが大切としている。人は病気ではなくて老化して死ぬというのが自論である。身体の元気より心の元気”の言葉は著者の生きざまが表れている。毎晩お酒を飲みたい、タバコを吸いたい、病院にいたらわがままの一言で終わる。けれど我家にいと好きに過ごして良いのです。身体によいことより、結局は『心にいいこと』をしたほうが長く生きられるようである。人は老化で死ぬので、死亡診断書には老衰と書くとのこと、心臓マッサージ・胃ろうはしないなど、細かく言い残した方が良いと述べている。最後に『死なせない』選択するのは家族であり、一人暮らしの方がむしろハッピーに死ねると書かれている。なかなか興味深く考えさせられる一冊である。是非ご一読ください。

滋賀県理学療法士会問い合わせ先一覧

(a) は @ に置き換えてください

事務局 公文書発行 発送物関係 ホームページ原稿受付

jimukyoku(a)shiga-pt.or.jp 担当：池谷 TEL/FAX: 0749-46-0001

※お問い合わせ等は、できる限りメールにお願いいたします。

※会員への配布物については、ブラストメールにて対応しますので、PDF でお送りください。

入会、異動、休会

異動届は協会ホームページ（マイページ）上から行うことになっています。

<http://www.japanpt.or.jp/>

財務関係

keirijim(a)shiga-pt.or.jp 担当：滋賀医大 川波 TEL/FAX 077-548-2670

士会ニュース原稿受付 広報部

shigaptnews(a)yahoo.co.jp 担当：公立甲賀病院 西村

介護報酬部

shigaptkaigohousyuu(a)gmail.com 担当：田代クリニック 片岡

診療報酬部

namie(a)kou-sei-kai.or.jp 担当：琵琶湖中央リハビリテーション病院 浪江

※お問い合わせ等の際には、メールの件名に「診療報酬部への問い合わせ」と明記してください。

生涯学習関係 生涯学習管理部

h-kawasaki(a)pt-si.aino.ac.jp 担当：びわこリハビリテーション専門職大学 川崎
TEL 0749-46-2311

厚生事業関係 厚生部

ptshiga_kouseibu(a)yahoo.co.jp 担当：東近江市蒲生医療センター 奥田

公益事業部

shigapt_k_mk2016(a)yahoo.co.jp

担当：甲賀市役所 健康福祉部 高齢福祉課 地域包括支援係 岸本

障がい者スポーツ支援部

ptshiga.parasports(a)gmail.com 担当：びわこリハビリテーション専門職大学 安田

教育部

ptkyouikubu(a)yahoo.co.jp 担当：大津赤十字病院 中川

編集後記

まだまだ暑さは続きますが、水分や休みを適度にとりつつ、夏を乗り切りましょう！

事務局便り

情報の更新をお願いします！

異動や退職等で住居を異動されたにも関わらずマイページの変更を行っていない方がおられます。郵送物が届かない等のトラブルがございます為、職場・住居を異動された場合は必ずマイページの更新をお願い致します。

情報の更新で不明な点がある場合は日本理学療法士協会へ問い合わせをお願い致します。

士会からの郵送物の配送先について

士会からの郵送物に関して職場ではなく自宅への配送に変更を希望される方がおられます。県士会では職場を登録していただいております方は郵送料の観点から原則として職場へ郵送することになっております。また、職場の登録を削除されますと生涯学習の分野において支障が出る可能性がございます。

会員の皆様には不便をお掛け致しますが、職場への郵送となります事にご理解とご協力をお願い致します。

会員個人へのメール配信開始のお知らせ

昨年よりブラストメールを活用し県士会の情報を会員の皆様へ配信させていただいております。配信を希望される会員の方はマイページのメールアドレスの登録をお願い致します。ご理解とご協力をお願い致します。

揺るがない医療人へ



びわこリハビリテーション
専門職大学

BIWAKO PROFESSIONAL
UNIVERSITY OF REHAB

〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967 TEL:0749-46-2311



<本学HP>